JQA

発行日：2026 年 6 月 26 日
第 1811005324 号

環境関連情報検証報告書

株式会社第一ライフグループ　御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構（以下、「当機構」という。）は、株式会社第一ライフグループが算定した 2025 年度（※）のスコープ 3 の温室効果ガス（GHG）排出量、並びに水使用量に係る情報（以下、「同社 GHG 排出量及び水使用量情報」という。）が、同社において策定している GHG 排出量及び水使用量の算定基準（以下、「同社算定ルール」という。）に準拠し、正確に測定、算定されていることについて第三者検証を行った。検証の目的は、同社 GHG 排出量及び水使用量情報を客観的に評価し、その記載の信頼性をより高めることにある。

※株式会社第一ライフグループ及び連結子会社は、各社の決算期に基づく会計期間を対象期間とする。

2. 実施した検証の概要

当機構は、GHG 排出量については「ISO14064-3」、水使用量については「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は GHG 排出量のうち、スコープ 3 のカテゴリ 1（購入した製品・サービス）、2（資本財）、3（Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）、4（輸送、配送（上流））、5（事業から出る廃棄物）、6（出張）、7（雇用者の通勤）、12（販売した製品の廃棄）及び 13（リース）の合計 9 カテゴリと水使用量であった。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象それぞれの総量における 5%とした。また、本検証業務の対象は、株式会社第一ライフグループ及び連結子会社 101 社*における本社・支社・営業拠点及び第一生命保険株式会社の国内保有物件とした。水使用量に関する検証では、国内外対象拠点より 3 サイトを現地検証の対象としてサンプリングし、各サイトにおける算定対象範囲の確認、モニタリングポイントの確認、算定集計体制の確認、水使用量データについて根拠資料との突き合わせを行った。同社算定ルールの確認及びスコープ 3 に関する検証は、株式会社第一ライフグループ本社にて実施した。スコープ 3 に関する検証では算定対象の株式会社第一ライフグループ及び連結子会社 101 社より 2 社をサンプリングし、算定シナリオとアロケーションの確認、算定集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

＊主要連結子会社：第一生命保険株式会社、第一フロンティア生命保険株式会社、第一ネオ生命保険株式会社、第一アイペット損害保険株式会社、バーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社、株式会社ベネフィット・ワン、Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam, Limited、TAL Daiichi Life Australia Pty Ltd、Protective Life Corporation、Daiichi Life Insurance (Cambodia) PLC.、Daiichi Life Insurance Myanmar Ltd.、Partners Group Holdings Limited、Daiichi Life Reinsurance Bermuda Ltd.、DL - Canyon Investments LLC、第一ライフインターナショナルホールディングス合同会社

＊検証報告書は発行時点の社名に基づいて作成しています。

3. 検証の結論

検証の対象とした 2025 年度の同社 GHG 排出量及び水使用量情報に係る記載については、同社算定ルールに準拠していない事項や、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

同社 GHG 排出量及び水使用量情報の算定責任は株式会社第一ライフグループにあり、同社 GHG 排出量及び水使用量情報の検証の責任は当機構にある。株式会社第一ライフグループと当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

常務理事　浅　田　純　男